



# 鐵道と道路

理事 鐵道省運輸局長 中川正左

## 一 鐵道貨物と小運送

鐵道輸送の任務は生産地と需要地とを接近するにありて、例へば、鐵道では秋田の山林で切つた杉材を東京の一驛隅田川驛迄運搬し、又は東京の或工場で出來た「セメント」を名古屋の一驛千種驛まで運送する。停車場から需要者又は間屋の庭先又は倉庫まで運ぶのは、車力か又は舁舟の任務である。之を鐵道運送に對して小運送と云ふ。鐵道の運送が動脈であるならば、小運送は毛細血管である。血液は動脈内のみを流れても毛細管が此血液を受入れねば人體の筋肉も出來ず。骨も丈夫にならないが如くに、折角鐵道が輸送に全力を盡しても、此小運送が之に伴はなければ、停車場で行詰まつて需要者の手には迅速に又充分に行渡らない。つまり、鐵道で努力したことは何の益にも立たないのである。されば、小運送のことは鐵道輸送と相俟つて、經濟上重大なる意義を有するもので、近來漸く此小運送問題の重要視せらるゝに至りたることは一進歩と云はざるを得ない。

## 二 小運送と道路

小運送の通路は鐵道とは異つて普通の道路並に水路である、人馬の往來すべき市街又縣道、里道乃至は國道である。舁の往來する河川又は運河である。而して水路は主として倉庫に運ばれる大量貨物に利用され、一般に利用されて各方面如何なる場所までも運搬するに利用されるは道路である。道路なくば小運送なしとでも云ひ得る。伊太利の水郷「ヴェニス」は水が主要なる通路で、昔は頗る便利であつたが、今日は自動車が使用出來ず、逆に頗る不便なる都會となつた併しかゝる水のみの都は他に無く、概ね道路が交通の主要通路で、小運送の大部は道路上に行はれ、従つて小運送問題が重要となると共に道路問題が交通上重要問題となつた。特に吾々鐵道に従事せるものは遠距離輸送は逐年改良され増大されつゝあるも大、小都市に於ける小運送力の之に随伴せざるを見ては常に遺憾を感ずる處である。

大正十年十月より十二月に至る三ヶ月間の年末繁忙の時に、東京各驛の荷役引取能力不足の結果、發驛に向つて發送を制限したり停止したりしたること沙留、隅田川其他二十餘驛で、各驛が十數日乃至二十餘日位宛、延べにして二百餘日に達したるが如きは最も顯著なる例である。

鐵道は極力輸送の力を増して東京各驛に貨物を送り込まんとしても、著驛で之を卸すことが出來ず、空しく盈車のまゝ留めて置き、次から來る貨車を受入れる能はず、不得止之を停止するので最も貨物を要する時に發荷を止めるが如きは遺憾千萬であるが、これは東京の小運送の力が伴はざるためで、其原因は主として道路の不良にある、現に遞信省前の道路を改良されて沙留の引取能力が増大して、雨降りの後も變化なきに至つたが如きは著しき適例である。即ち道路の舗裝が完了せば抵抗減じ、馬の疲勞少なきのみならず、同一馬車でも積載率を増加することが出来る。同一數の馬車でも引取運送能力は頗る増加することが出来るからである。

## 三 道路と貨物

驛に著した貨物の大部分は悉く道路の上を運ばるゝ（但水路及専用線で工場内に運ばるゝものあり）。其數量東京市のみで到著貨物一日平均一萬三千二百二十噸（大正十年）、發送一日平均三千八百噸である。之に要する延臺數到著が馬車五、七〇七、手挽車四、〇六三、自動車三九〇、發送が馬車一、七九六、手挽車二、四九八、自動車一三〇であつて、毎日これだけの小運送機關が道路の上を動くので（大正十年實績）、然も此數は鐵道發著貨物のみに關するもので、右の外に倉庫と問屋、問屋と小賣人、荷揚場から問屋等に運ばるゝものなどは、非常に莫大なるものなるべきは想像するに難くない、道路の負擔も却々に重いのである。

鐵道線路でも勾配を緩にし、曲線を大にし、且軌條を重いものに取換へる時は輸送力を増大するから、常に其方面の改良を怠らぬ處であるが、道路も亦之が改良を行はざれば等小運送の能力が増大するは明で、其結果は小運送費の遞減を來し、物價に相當の影響を來すものと信ずる。殊に停車場附近の道路が改良されて、荷馬車の交通に支障少からしむるは物資の需給を圓滑ならしむる一の原因であると信ずる。

近來は爲政者に於ても此點に著眼されて、進んで改良さるゝ風潮となりしも、以前はかゝる道路は運送店が破壊するから運送店が改良すべきものなりとて更に顧みられず、馬車が如何に困難しても風馬牛も及

ばずで、甚しきに至つては鐵道が改良すべきであるといふ人さへあつた。本末を誤るも甚しきで、夫が爲に一般市民が高い小運送費を拂ひ、高き品物を買ふに至ることを覺らなかつたのであるが、近來は流石にかゝる愚論を述ぶる人は無くなつたのは喜ぶべきで、着々其方面の改良に努められつゝあるは一大進歩と云はなければならぬ。

#### 四 道路と支障

道路は小運送に就て大切なる機關である。市民生活の血管である。従つて其の支障の能ふ限り少からんことを欲する。我鐵道でも修繕等の場合には必ず他に通路を作つて支障なからしめて後に於てす。道路は多數の通路があるからとは云へ、鐵管理設、下水作成の場合に於ても、電車線路修繕の時も、只札を建てるに過ぎない。工事場は勝手に石を道路に擴げる。店屋は手車を勝手に道路に放置し、只さへ狭き道路を一層狭くする、遞信省のケーブル埋設もあり、各種の工事が道路の上下に行はれ夫れが不統一で區々に行はれるから、其れ等の爲めに蒙る不便は僅少でない。これ等は相當考慮されて道路改修其他の場合には出来る限り不便を少くする様秩序あり統一ある組織的の順序により施行さるゝときは、今日目前に頻出せる混雑を幾分でも減ずるを得んかと思ふ。

現今の如き無秩序に行なるゝ時は多少改良されても、依然として道路難を減ずる能はずである。これは獨り爲政者のみの罪でなく、一般民衆も各自反省して道路妨害の行爲を避くる様注意しなければならぬ。然らずんば互に人を責むるのみにて自分から妨害を敢てせば何時の世にか改良の實を擧げ得んやである。

### 談

#### 所感

子爵 澁澤榮一

#### 路上整理と維持

#### 愛惜の念

理事 桐島像一

### 叢

#### 倫敦の巡查を中心

#### として

幹事 佐上信一

氏ルビルニミサ..... 露子深滋.....



士博田部 事幹統部